



平成29年度2月補正予算の概要

(国補正予算関連事業)

平成30年2月
福 岡 県





平成29年度2月補正予算のポイント (国補正予算関連事業)

(単位:百万円)

1 予算編成 の考え方

国の補正予算を最大限活用し、早期執行が必要な「豪雨災害復旧・復興対策」、「防災減災対策」、「農林水産業の競争力強化」等に取り組む。

2 補正予算 の規模

| 区分 | 当初予算 A | 現計予算 B | 2月補正 予算 C | 2月補正後 予算 D=B+C |
|------|-----------|-----------|-----------------|----------------------|
| 一般会計 | 1,720,920 | 1,829,015 | 26,804 | 1,855,819 |
| 特別会計 | 584,086 | 584,086 | 0 | 584,086 |
| 計 | 2,305,006 | 2,413,101 | 26,804 | 2,439,905 |

3 主な内容

| 項目 | 予算額 | 財源内訳 | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|------|
| | | 特定財源 | | | 一般財源 |
| | | 国庫 | 県債 | その他 | |
| ○ 豪雨災害復旧・復興対策 | 5,732 | 585 | 4,930 | 83 | 134 |
| ○ 防災減災対策 | 15,540 | 6,582 | 8,527 | 387 | 44 |
| ○ 農林水産業の競争力強化 | 3,325 | 1,756 | 389 | 1,180 | |
| ○ 子育て支援、福祉の充実 | 1,582 | 1,023 | 558 | | 1 |
| ○ 地方創生の推進 | 625 | 313 | 312 | | |
| 合計 | 26,804 | 10,259 | 14,716 | 1,650 | 179 |

■ 豪雨災害復旧・復興対策

被災者の住宅確保を支援 8,298万1千円

- ・ 自力再建が困難な被災者の住まいを確保するため、朝倉市から災害公営住宅等の整備を受託し、設計に着手

災害復旧の効果を高め、災害の再発を防止 55億6,198万7千円

- ・ 災害復旧と併せて行う河川の改良工事を実施 33億4,821万4千円
- ・ 土石流やがけ崩れが発生した箇所に砂防ダム等を設置 22億1,377万3千円

河川水位情報の配信を強化 8,625万円

- ・ 県管理河川に水位計を増設し、市町村や住民にインターネット等による水位情報をリアルタイムに提供することにより、避難勧告等の判断や迅速な避難行動を支援



<河川の改良工事>



<砂防ダムの設置>

■ 防災減災対策

洪水被害・土砂災害の防止を推進 77億3,936万7千円

- ・ 河川の護岸、砂防ダム等を整備
- ・ 県管理河川に水位計を増設【再掲】

ため池・クリーク等の安全対策を実施 24億1,607万円

- ・ ため池・クリーク等の整備、地すべり対策を実施

緊急輸送道路等を整備 20億2,650万円

- ・ 緊急輸送道路の整備、道路法面の崩壊・落石対策等を実施



<ため池の整備>



<道路法面の崩壊対策>

■ 農林水産業の競争力強化

園芸農業の収益力を向上 14億7,620万円

- ・ コスト削減・高収益作物への転換等に必要な低コスト耐候性ハウス等の整備費用を助成



<低コスト耐候性ハウス>

畜産業の競争力を強化 1億9,264万円

- ・ 畜産農家、飼料メーカー、流通事業者の連携による牛舎等の整備費用を助成



<牛舎の整備>

中山間地域の農業所得を向上 2億500万円

- ・ 収益性の高い農産物の生産・販売を拡大するため、所得向上計画の策定、農道の整備等を推進

製材業の生産力を強化 2億5,506万1千円

- ・ 製材工場の生産性を強化するため、間伐・路網や高性能林業機械の整備費用を助成



<高性能林業機械>

■ 子育て支援、福祉の充実

子育て支援を充実 3億9,964万9千円

- ・ 認定こども園の改築費用を助成

特別支援学校の老朽化対策を推進 3億7,827万3千円

- ・ 特別支援学校のトイレを改修

社会福祉施設の施設整備を支援 8億374万3千円

- ・ 障がい者支援施設等における防犯カメラやスプリンクラー等の設備費用を助成
- ・ 障がい者支援施設等の創設・改修費用を助成



＜トイレの改修＞



＜防犯カメラの整備＞

■ 地方創生の推進

家具製品の開発支援機能を強化 1億8,671万7千円

- ・ 工業技術センター（インテリア研究所）に家具試作支援ラボ、家具評価支援ラボを設置



＜インテリア研究所＞

農水産物の付加価値向上や女性農業者等への支援機能を強化 4億3,838万8千円

- ・ 麦類や大豆、イチジクの新品種開発のため、農林業総合試験場の施設・設備を整備
- ・ 女性農業者の生産性向上や農福連携による障がいのある人の雇用促進を支援するため、農業大学校の施設・設備を整備
- ・ アサリの増殖や二枚貝の付加価値向上等のため、水産海洋技術センターの施設・設備を整備



＜水産海洋技術センター＞